

ほたる

令和5年7月20日 発行

目指す児童生徒像

- すすんで学び、考える子ども
- みんなとなかよくする子ども
- 明るく元気な子ども
- 自分のことは自分でする子ども

「夏休みの思い出」

教頭 小岩正則

明日から夏休みです。夏休みには、普段なかなかできないことに取り組んだり、いつもよりのんびりしたり、それぞれの御家庭でそれぞれの過ごし方があることと思います。

私は子どもの頃、夏休みをとっても楽しみにしていました。そこで私事ですが今から40年以上前、小6の夏のことを書きたいと思います。その当時、お盆になると車で一関市にある父の実家へ行き、親戚と過ごす二泊三日を楽しみにしていました。その年は父の提案で、なぜか「自転車で行こう」ということになり、父と弟と3人で、仙台から約100kmの道のりを休憩を入れて10時間くらいで走る計画を立てました。交通量を考え、国道45号、346号、342号線などを走るルートで行きましたが、涌谷町の黄金山の登り坂と花泉町内のアップダウンの多い道に苦しんだことを鮮明に覚えています。また、当時はコンビニなどが無かったため、花泉町の民家でトイレを貸していただいたことも記憶に残っています。到着したときは、達成感と疲れが入り混じった何とも言えない気持ちでした。そして二日後の帰り道は金成町を通り、築館町の「神田バナナ」という店で休憩を取りながら、国道4号を中心に走りました。帰り道は早く帰宅して休みたい一心でペダルを漕いだ覚えがあります。この経験は私にとって「冒険」のようなものだったと今になって思います。

さて、長々と個人的なことを書いてしまいましたが、夏休みに思い入れのある私は、休み明けに「夏休みの思い出」の廊下掲示を見るのを楽しみにしています。絵日記や写真などから、子どもたちと御家族の皆さんの思い出の一コマを知ることができ、ほっこりした気持ちになっています。自然災害が多い近年の夏は心配もありますが、それぞれの御家庭で健康や安全に留意した日々を過ごされることを願っています。そして休み明けには一回り成長した子どもたちと会えることを楽しみにしています。

開校記念日 8月30日(水)

《宮城県立金成支援学校の沿革の概要》

- ・昭和41年4月1日
宮城県ほたる学園内に、金成町立沢辺小学校、沢辺中学校の分校として開校
- ・昭和53年4月1日
宮城県立金成養護学校として独立開校
- ・昭和54年8月30日 校舎落成
- ・昭和55年2月20日
校舎落成記念式典
- ・平成21年4月1日
宮城県立金成支援学校に校名変更
- ・平成29年12月1日
創立40周年記念式典



【8月の予定】

- 24日(木) 夏休み明け全体朝会
- 28日(月) さざんか朝会、
教育実習 ~9/8(金)
- 30日(水) 高1・2-職場施設見学
開校記念日

小・中学部 「七夕集会」

7日（金）小・中学部で七夕集会を行いました。みんな、思い思いの願い事の短冊を笹につるし、「プールでたくさん泳ぎたい。」「自転車に乗れるようになりたい。」などと発表することができました。またゲームでは、中学部の生徒と小学部の児童がペアになって、大きな星を貼り付け、織り姫と彦星が渡る「天の川」を作ることができました。



高等部 「レッツトライワーク」

今年度もキャリア教育の一環として、「自主性と自己肯定感を高める」、「誰かの役に立つ・役割を果たすことで奉仕の心を育む」ことを目的とした『レッツトライワーク』が行われました。仕事依頼（求人票）を自分で選択し、決められた時間に決められた仕事に取り組むという活動です。校長先生はじめ、諸先生方から依頼のあった仕事に生徒たちは熱心に取り組んでいました。（主な作業内容：行事予定板作成、ペットボトル回収、印刷業務、スリッパ整理、体育館器具庫片付け、プールサイド清掃）



「ベルマークの集計作業」「シュレッダー作業」「除草作業」

高等部 「ネット犯罪・薬物乱用防止教室」

3日（月）若柳警察署の方からネット犯罪や薬物乱用防止についての講話をいただきました。講話の内容を忘れず、今後気を付けて生活していきたいものです。



明日の7月21日（金）から8月23日（水）まで夏休みとなります。けがや病気に気を付けて楽しい夏休みをお過ごしください。

なお、8月9日（水）から16日（水）まで学校は閉庁となります。

緊急の連絡は（ご家庭の皆様へお知らせしている電話番号）までお願いします。